

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化や終末期についての詳細を明文化していない。家族には、現体制について説明している。	重度化や終末期のあり方について、管理者や看護師を中心に日常生活上に必要な療養や緊急時対応など明文化していく。	利用契約書や重要事項説明書等に地域医療連携加算について明文化すると共に、重度化対応や終末期についても明文化する。	3ヶ月
2	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 全職員で制度について学ぶ機会を持ち、利用者や家族へ情報提供を行う。また、研修記録を残し、資料等は職員が確認するように保管する。	各職員が説明できないまでも、パンフレットにての案内ができるように取り組むたい。	日常生活支援事業を活用している事例を踏まえ、サービスについての理解を定期的に行う。については、半年に一度の研修や記録をしていく。	6ヶ月